

石建管第 **2 3 2** 号
平成 2 0 年 1 0 月 **1 6** 日

国土交通省道路局長 様

石狩市長 田 岡 克 介



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

標記について、別紙のとおり意見書を提出しますので、よろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

様式①
北海道 石狩市

第4期石狩市総合計画(平成19年度から平成28年度)の戦略計画の中で、「安全 安心 快適なまち」の施策項目の1番目に「道路網の整備」があります。鉄道網がない石狩市としては、物流や人の移動はすべて道路に依存しなくてはならず、地域内の生活や経済活動には、道路整備がかかせません。そのことから次のことを提案します。

1. 国際競争力を確保するため、拠点的な港湾から空港や都市へのアクセス道路の整備を推進すること。
2. これから国際標準コンテナ車の運行が増大することから、通行支障区間の早期解消をはかること。
3. 地方公共団体における橋梁等既設ストックの長寿命化修繕計画の策定と点検実施の支援をはかること。
4. 地方への交付金及び貸付金を継続し、地方が活用しやすくすること。
5. 落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩などのおそれのある区間に対する、防災、防雪対策を推進すること。

○現状

1. 石狩市は平成17年10月に浜益村・厚田村と合併し、日本海側海岸70kmを占める細長い行政地域となりました。
浜益区の「ラバーズ・オーシャン」や厚田区の「恋人の聖地」厚田公園展望台など観光名所に恵まれおり、適度の起伏と車での移動の際、海岸が見えやすいことから、国道231号のライダーや自転車愛好者の利用が年々多くなっている。
2. 自治体管理の橋梁についてですが、本市管理橋梁は、海岸部に位置していることから、塩害等による老朽化が進行しており、改修及び予防対策を行う上での費用負担が非常に大きな課題となっている。
3. 本市は、石狩湾からの強風が吹き込むため、吹雪による視界不良や吹き溜まりの発生により交通止めが起こっている。
4. 近年は、日本海側を中心に大雪となっており、また、生活様式の多様化により、除雪水準のレベルアップが求められている。

○課題

1. 道路形態において、歩道や路側帯の整備が進んでおりません。
そのため、ツーリング用の路側帯を拡幅する環境整備を強く要望する。
2. 道路ストック管理の実施に際して、厳しい財政状況の下、橋梁の長寿命化に係る補修・架替えに係る費用に対して支援策を要望する。
3. 交通障害等を防除するとともに危険解消のため防雪柵等の整備推進を要望する。
4. 豪雪地域に係る本市では、財源確保がままならないため除雪費の不足が続いており、必要な財源についての支援措置を要望する。

国際物流港湾と消費地への橋渡し

1) 国際物流港湾が持つ資材の集積能力やエネルギー源となるLNG(液化天然ガス)基地としての役割を担っている石狩湾新港を抱え、鉄道網を持たない本市においては、大型トレーラによる輸送が大きな物流手段となることから、道内主要都市への輸送関連道路網の整備が望まれる。

また、石狩湾新港後背地は、現在、冷凍冷蔵庫の庫腹量は全道一であり、道央圏の大消費地である札幌市をはじめ、道内主要都市への市民生活物資の供給基地としての役割が今後も増大することが見込まれるため、輸送をスムーズに行うための道路ネットワークの整備が強く望まれる。

2) LNG(液化天然ガス)の利用は、今後飛躍的に増大することが確実視されている。東南アジア、サハリン等から安定した数量の輸入が見込まれ、エネルギー源として、石炭や石油からの切り替えが進み、道内主要都市に大型トレーラでの輸送が始まろうとしている。今後輸送量も増大していくことから、各都市へのスムーズな輸送を確保できるよう道路ネットワークの整備が望まれる。

3) 本市は、北東アジアの中でも経済成長が著しいロシア極東(サハリン州など)との地理的優位性から、将来的に対ロシア経済戦略において重要な港湾施設との位置づけとなり得ることが十分に考えられ、このことから北海道経済の更なる発展を目指す貿易拡充政策においても、北海道の空の玄関である新千歳空港や北米貿易の窓口である苫小牧地域との相互依存は重要なものと考えられ、これらを結ぶ道路ネットワークの整備が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道 様式④
石狩市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・国道231号の浜益地区は昭和52年に新しい道路が整備され、起伏が多い峠の多かった道路が、トンネルなどの整備で直線区間が飛躍的に増えた。	・浜益地区から石狩地区までの所要時間が1時間程度短縮になったことから、交通の利便性が向上し、滝川市へのアクセスの他に札幌市という選択もできるようになった。 ・病人の症状に合わせた最適の病院を滝川市とともに札幌市からも選択できるようになった。 ・一次産品の出荷が市場開設時に間に合うようになった。 ・観光客の入れ込みが飛躍的に増大した。 ・海岸線の景観と海、山の一次産物を提供する新たな観光プロジェクトがスタートした。	